事務事業	評価シー	-1-			事業種別	継続	単独	事業類型	v	施設	の管理	里·運営		1次評価	iのみ対象分			
	コード			名	称			区分	コード			名	—— 称					
事業名	1245	施設共通費						会計款	11 01	公共下水道 事業費	事業特	別会計						
# + # #	22	ムまめにま ば	ᆊᆉᄳᅖᄷᇌᄼᄫ	# 士 7				項	01	争未复 施設管理費								
基本施策	22	主印的に生活	排水処理施設を整				目	01	施設管理費									
施策	2	公共下水道の	推進と整備					細々目		施設管理費 施設共通費								
基 本 計 回			108	担当部課	コード 名称	7/	190200 建設部下水道課		評価氏		及部伊 2	入夫	連絡先	22 - (内線)	9820 2870			
「半人神の』	里从争块街	5			10 170	X	主政即下小坦林		Ц	12				(P) 10K)	2070			
業の計画・F	内容																	
			対象等(何が、誰	が)						成果(と	うなるの	のか)						
伊賀市管	うちゅう ウェア ウェア ウェア ウェア かいしょう しゅうしゅう ちゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう しゃ	共下水道処理区	Ľ域の住民				各施設単位で	契約締結を要	する委託	モ業務等を除	いた維	持管理業	務を、本庁	一括で契約	締結すること			
9			(XX 14	象件数)	により経費の節	i減が図れる。	また、引	務や業務を	効率的	に遂行で	きる。					
開始年度	平成 1	9 年度		表开 取 農業集落排水	事業													
終了年度	平成	年度 根	拠法令·要綱等	下水道法、伊賀	市公共下水	道条例												
							状											
	里施設の設備	構や機械・装置:	等の保守・点検				況 平成19年	度から、本庁	で維持	管理ができる	業務を	一括して多	*注するこ	とにより経費	の節減がで			
	包気工作物 (の保守点検					変きる。											
容							等											
備内容					事業実	綾												
建設用地建設面積(3	延庆而籍)					浔	5動指標		単位 H18				119	目標値 H20 H21				
規模·構造					マンホ-	ールポンプ保	守点検(1回/月)		目標	_	目標	12	12				
総事業費				千円	l <u> </u>			,		実績目標		- 実績 目標	12 12					
営体制					水質筷	査(1回/月)			П	実績	_	- 実績	12	12	1			
運営主体 委託会	先 (✓ 直営	指定管理	民間委託等						目標 実績		目標 実績						
配置(予定))人員			0.2 人						目標		目標						
年間運営費		・作 させ le hn TE		64,487 千円						実績目標		実績日標						
市内の類似		ŧ集落排水処理 環境保全公共下	施設22施設、 2 水道施設6施設	\共下水道·特						実績		実績						
左松相	•							-										
価指標 車業	の成果を測	人 指揮		15.4	震設定の考え	5		単位			績値			目標				
于 木	207成未已从	1の1日1水	be and the state to				. MIN. ALL THE	+14		H18		H19		H20	H21			
	(達成	回数/測定回	処理水の水質検 ていることが重要					%	目標	_	- 目標		100	100	10			
)			指標とすることに						実績	_	実績		100					
									目標		目標							
									実績		実績							
									24,20		24,24		l l					
						-												
						音	平価項目について	(のコメント										
	・イント								公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。									
価項目ポー		衛生の向上、	公共用水域の水質	保全に寄与し、	市民が社会	生活を営むう	えで必要な生活	環境水準の研	寉保を目	的とした事業	である	•						
価項目 ポーンン 要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 公衆						えで必要な生活	環境水準の研	寉保を目	的とした事業	である	•						
必要性	4 公衆		公共用水域の水質持には、適切な維				えで必要な生活	環境水準の研	在保を目	的とした事業	である	•						
が 必要性 有効性	4 公衆4 汚水	〈処理能力の保	持には、適切な維	持管理を継続的	的に行う必要	がある。							7117					
有効性	4 公衆4 汚水	〈処理能力の保		持管理を継続的	的に行う必要	がある。							ている。					

	効率性	3 施設の機械·装置等の適切な点検·維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減が図れる。								
1	総合評	価	事業の方向性	改善についての取り組み						
	Α		現状維持	当施設は、処理区域内の公衆衛生及び環境衛生の向上、また、公共用水域の水質保全に寄与しており、市民が快適な暮らしをするには必要な施設であります。このことから、維持管理経費の確保は不可欠であります。						

	年度							平成1			内容		平成	19年度				平成2					平成21			
	十尺						事 業	内容	数量	単位	金 額	昌	業 内容	数量	単位	金額	事業	内容	数量	単位	金 額	事業	内容	数量	単位	金 額
進捗	委託	\leftarrow	\Rightarrow			由					(千円		託料	1	式	(千円) 64,487	委託料	+	1	式	(千円) 69,804	委託料		1	式	(千円) 69,804
状	工事		_	*	>	争業内容																				
況						1																				
ď	生 捗率																									
	(%)						事業費	(A)		Σ		0 事	業費計(A)		Σ	64,487	事業費	H(A)		Σ	69,804	事業費	H(A)		ω	69,804
		事美	投入	人員			人件費	(B)		人		ᄉ	件費(B)	0.2	人	1,440	人件費	(B)	0.2	人	1,440	人件費	(B)	0.2	人	1,440
	7	ルコ	スト(A) +	(B)						·	0				65,927					71,244					71,244

事非	!費(人件費除く)の財源内訳				
(A)	事業費	0	64,487	69,804	69,804
_	国庫支出金				
A	県 支 出 金				
の財	地 方 債				
源	受益者負担				
内	その他		64,487	69,804	69,804
訳	一般財源	0	0	0	0
	計	0	64,487	69,804	69,804
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等		施設使用料	施設使用料	施設使用料